

### BDF活用モデル現場見学会開く 環境保護の大切さ学んで！ 地元小学生招き宮坂建設工業



続いて、同社土木部工事グループの今野敦がBDFの製造工程を説明。写真や絵、図などを使いながら、「み

【帯広発】宮坂建設工業(帯広、宮坂寿文社長)は十九日、同社が音更町内で施工中の「3・3・128鈴蘭公園通地活交改良」工事に地元小学生を招いて、「BDF(バイオディーゼル燃料)活用モデル事業現場見学会」を開催した。BDF燃料使用機械による作業の見学やO×クイズを体験。楽しみながらBDFや地球環境などについて学習した。写真1。

同工事は、道の「BDF活用モデル事業」に指定され、廃油から精製されるBDFでバックホーなどの建設機械を稼働。音更町立駒場小学校の児童が植物油脂の原料となるナタネの生産などについて学んでいることを知り、学習に役立ててもらうため、見学会を開催。四年生十八人を現場に招待した。

はじめに、同工事事務所の伊藤幸輔所長が、「おじさんたちは道路を走りやすくするために工事をしている。土を掘ったりして、土を手で掘れば大変だけど、建設機械を使えば簡単。建設機械を動かすためにこの工事は、BDFを燃料に使っている」などと、工事概要などを分かりやすく説明した。

このあと、BDF使用機械の作業見学や軽油機

児童は楽しみながら、BDFや地球環境保護の大切さなどを学んでいた。